

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

中学校前から浦場の観測点で海水の着色が認められました。

検鏡の結果、長太郎貝やアサリ等二枚貝類に有害なヘテロカプサ・サーチュラリスカーマが最高で114,000cells/ml、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で45cells/ml確認されました。

ヘテロカプサは中学校前から浦場の各観測点で被害が想定される細胞密度になっています。

カレニアは被害が想定される細胞密度になった観測点は確認されませんでした。

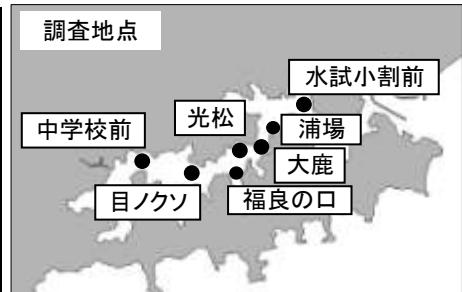
シャットネラ属は全ての観測点で確認されませんでした。

慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

		ヘテロカプ サ・サーチュ ラリスカーマ	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	100	14	0	1,400
	2m	2,400	33	0	2,150
	5m	625	4	0	500
目ノクソ	0m	114,000	10	0	3,000
	2m	5,300	35	0	1,250
	5m	750	2	0	1,150
光松	0m	8,750	25	0	750
	2m	19,000	45	0	1,000
	5m	1,450	3	0	600
大鹿	0m	12,500	10	0	750
	2m	6,200	12	0	1,600
	5m	500	0	0	200
水試小割前	0m	50	0	0	20
	2m	50	0	0	50
	5m	0	0	0	200
福良の口	0m	59,400	12	0	0
浦場	0m	1,625	0	0	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロカプサ・サーチュラリスカーマ:
1,000cells/ml(貝類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>